



2026年4月17日

各位

三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 久井 大樹
(コード:8593 東証プライム)

2026～2028 年度中期経営計画(2028 中計)について

2026 年度から 3 年間の中期経営計画（以下「2028 中計」）を下記の通り策定しましたので、お知らせします。

記

1. 価値創造ストーリーと「2028 中計」の位置づけ

当社は、2022 年 5 月に公表した「10 年後のありたい姿」(今般、時間軸の明確化を含めて「31 年度のありたい姿」として再整理)の実現に向けて、成長戦略を推進しています。2026 年度から開始する 2028 中計は、その実現に向けた重要なマイルストーンであり、収益性を高め、企業価値向上を加速するフェーズと位置づけました。

ROE を最重要指標に据え、まずは 2025 中計で掲げた ROE10%を達成し、2031 年度にはこれをさらに上回る水準の ROE の実現を目指すことで、中長期的に企業価値を向上させます。

その実現に向けて、2028 中計においては、「事業」、「財務」、「デジタル」、「人財・カルチャー」の 4 要素を主な推進力として、収益性・成長性の高いポートフォリオ構築、キャピタルアロケーションの最適化、デジタル活用による経営の高度化・高速化、企業文化変革、などを一層加速させます。

2. 2028 中計主要目標(2028 年度)

(1) 財務

① ROE	10.0%
② ROA	1.7%
③ 純利益	2,100 億円
④ 外部格付	A 格維持
⑤ 配当性向	45%以上

(2) 非財務

① 2019年度比 GHG 排出量 (Scope1,2)	△67%
② 新型航空機比率	82%
③ グリーンビルディング比率	61%
④ リース満了物件の有効利用率	97.5%
⑤ MHC エンゲージメント※	75%以上
⑥ 人財ポートフォリオ充足率	80%以上
⑦ デジタル関連ビジネス新規価値創出	30 億円
⑧ 生産性向上	+30%程度

※ 従業員エンゲージメントサーベイ結果が一定の高水準を満たしている状態の組織の割合
 (「自発性」・「多様性」というスコアに関して、回答者の半数以上がいずれのスコアも高水準の
 組織の割合)

3. 主要 4 要素

各要素の戦略は以下の通り。

(1) 事業戦略

- ✓ 「ビジネスモデルの進化・積層化 2.0」の考え方にに基づき(以下、2つの視点から価値創出の手法・領域拡充)、資産規模拡大による成長から収益性を重視した成長モデルへ転換。
 - 価値創出の手法の視点(既存の「ビジネスモデルの進化・積層化」)
 - 価値創出の領域の視点(新たに「アセットのライフステージ」を追加)
- ✓ ファイナンス中心のビジネスモデルタイプの割合を減少させ、サービス、アセットマネジメント、各種事業など収益性の高いビジネスモデルタイプを拡充する方向性。
- ✓ 従来以上にメリハリの利いた事業ポートフォリオの入替を加速。資産規模の拡大を抑制しつつ成長投資強化を通じて収益性向上を実現。

(2) 財務戦略

- ✓ 「成長性」「資本収益性」「財務健全性」のバランスを確保するために、キャピタルアロケーションを最適化。

(3) デジタル戦略

- ✓ アセットデータなどの活用によるビジネス面での価値創出や、各種デジタル技術活用による生産性向上。
- ✓ データドリブン経営体制の構築などによる基盤確立・強化。

(4) 人財・カルチャー戦略

- ✓ 挑戦と変革を促す企業文化の定着や、それを牽引するリーダーシップの開発。
- ✓ 人財配置・評価・報酬のメリハリ強化・最適化。

4. 戦略を支える報酬制度(役員報酬)

主要 4 要素の戦略を支える評価制度として、役員報酬の体系を 2026 年度より改定。最重要指標に据えた ROE の評価ウェイトを引き上げる他、新たな KPI として非財務目標を追加。

5. 各事業の成長ストーリー

海外カスタマーの回復と航空・不動産を中心とした専門事業の伸長が、全社の利益成長と収益性向上を牽引。

セグメント	事業戦略の方向性
カスタマーソリューション	グループ全体を底支えする安定基盤として、収益性と収益額を着実に向上。高付加価値サービス展開加速、低収益資産のディストリビューション強化。
海外カスタマー	米州事業を再構築したうえでグループ全体の安定収益基盤としての地位を回復・強化。米州は、商用トラック事業の規模縮小などにより収益力を回復。
専門事業	航空・不動産を筆頭にグループ全体の収益性と収益額の向上を牽引。
航空	航空機リースの資産回転加速化、収益性の高い航空機エンジンリースの規模拡大。
不動産	ファイナンス、投資、アセットマネジメントの 3 つの事業をバランスよく展開。インカムゲインの割合を高めつつ高い収益性を維持。
環境エネルギー	当社グループのネットワーク活用による European Energy の成長支援強化、中長期的な成長を企図した国内外での事業投資等。
ロジスティクス	満了契約の延長や需要地への廻送等による高稼働率維持、市況サイクルを見極めた機動的・弾力的新規投資による優良資産の獲得。

6. 参考資料

2028 中計に関する説明資料を、当社コーポレートサイトに公開しています。あわせてご参照ください。

URL <https://www.mitsubishi-hc-capital.com/investors/plan.html>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
TEL 03-6865-3002 (直通)

以上